

<b>【児発】事業者向け</b>	事業所名	重症心身障がい児デイサービスセンターひなた
	アンケート実施期間	令和5年11月1日～令和5年12月28日まで
	配布数	3枚(回収率 100%)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	今後取り組んでいきたい事 改善目標
環境・体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		常に子供たちが休養をとれるスペースや活動するために十分な広さがある。	
	2 職員の配置数は適切であるか	3		子供達と1対1で深く関わる事ができている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3		バリアフリー化されており、2階へは昇降機での移動が可能である。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3		毎日の清掃で清潔を保つと共に、壁面等を季節の飾りや子供たちが制作したものを飾り、子供たちが見て楽しめるようにしている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		毎日の活動内容は現場のスタッフと話し合っ内容を決め、その都度振り返りを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		年に一度アンケートが実施されている	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会やホームページ等で公開しているか	3		昨年度までは半田市のホームページにて公開されており、今年度からは法人のホームページにて公開される。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		法人内研修では様々な分野の研修が行われている。 外部研修の案内が見やすい所に掲示してある。	
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3		担当者の責任者が面談を行い、その内容をもとに作成されている。		
11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		法人の共通アセスメントシートがあり、それをういて面談が行われている。 毎日の記録で振り返っている。	何年も利用している子どもについては、聞き取りを再度行いたい。	
12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3		中間評価をもとにガイドラインの観点も取り入れながら支援内容の作成・設定がされている。		
13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3		支援計画を確認するようにしている。 活動内容も計画に沿った支援ができています。	計画を定期的確認する。	

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		翌月の活動プログラムは現場スタッフが話し合って作成し、代表・副代表の助言を得ながら実践を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		計画を一人で行うと固定してしまうので、放デイの活動も取り入れて、色々な活動を楽しめるようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	3		個々の興味や生活リズムを考慮しながら個別活動、集団活動を組み合わせるようになっている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		その都度活動内容の確認や、子どもたちそれぞれに対して大切にしたい事などを確認し合いながら進めている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3		活動中の子どもの反応をスタッフ間で共有し、気づいた点など伝えるようにしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3		日報、個人記録、振り返り等を行い、次の活動や次年度の活動に活かすようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3		半期毎にモニタリングが行われ、計画の見直し、変更がなされている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3		その状況に一番適したスタッフが参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3		必要に応じて連携している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3		情報共有がされている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3		指示書でのやりとりや、月に一度の嘱託医による往診が行われている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3		必要に応じて、情報共有や会議の場が設けられている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3		学校への情報共有の機会を設けられている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		コロナ前は、近隣の専門機関への訪問を行っていた。現在は感染予防もありなかなか難しい。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		今年度は、図書館で行われる絵本の読み聞かせ会に参加してきました。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		送迎時に写真を交えて子供の様子を伝えたりするなどして、ご家族との情報共有をしている。	

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		3		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3		保護者への説明はされており、情報はいつでも開示可能である。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		子育ての悩みや兄弟児の相談については傾聴したり、共感したりしている。必要に応じて代表副代表理事に相談をするようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		その都度、迅速かつ適切に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		ひなた通信や、月に一度のお便りを発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	2	1	不祥事後は氏名・写真等個々の情報は複数名のスタッフが確認し合うようにしながら厳重に取り扱うようにしている。	個人情報の意識が未熟でした。一人一人のお子さんの大切な情報である事を一つ一つ確認しながら大切に取り扱うようにしていく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3		表情や反応から読み取るようにしたり、写真を使って分かりやすく伝えるなど工夫している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3		今年度はひなた祭を久し振りに開催し、地域の方に来ていただくことができた。	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3		マニュアルは常に見える所に掲示されている。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		地震・火災を想定した避難訓練を定期的に行っている。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3			
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3			
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		すぐに共有され、いつでも見ることができるようにファイリングされている。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		研修が実施されている。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3		記載され、同意書も提出して頂いている。	